



石川県立小松高等学校

所在地 〒923-8646 石川県小松市丸内町二ノ丸 15

TEL 0761-22-3250 FAX 0761-22-3251

URL <https://cms.ishikawa-c.ed.jp/komafh/>

Eメール komafh@ishikawa-c.ed.jp



- 創 立
明治 32 年
- 校長名
馬場 智子
- 職員数
97 名



学校へのアクセス IR 小松駅下車徒歩 20 分

○在籍者数、学級数

(令和 8 年 4 月 8 日現在) ()はクラス

生徒数	学 年	1 年			2 年			3 年			合 計		
	性 別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
数	普通科	133	147	280(7)	124	154	278(7)	126	151	277(7)	383	452	835(21)
	理数科	28	12	40(1)	29	11	40(1)	31	10	41(1)	88	33	121(3)
	計	161	159	320(8)	153	165	318(8)	157	161	318(8)	471	485	956(24)

1 本校教育の特色

- ① 自主自律、文武両道の校風…小松高校は、「自主自律」・「文武両道」の精神を重んじます。
- ② 「スーパーサイエンスハイスクール」…文科省指定 21 年目。先導的改革期(3 年間)が始まりました。
- ③ 「いしかわニュースーパーハイスクール」…平成 24 年度より石川県から指定を受け、15 年目。
- ④ きめ細かな進路指導体制…県内屈指の進学校。進路実現を強力にバックアップします。
- ⑤ 緑豊かで、充実した学習環境…平成 18 年に新校舎が完成し、快適な学習環境になりました。
- ⑥ 百二十余年の伝統…約 3 万 7 千人の卒業生を輩出し地域社会からも大きな期待が寄せられています。

2 今年度の重点目標

- ① **学びのある学校**…学習習慣の確立に向けた指導や学力層・個に応じた学習指導により、上級学校進学のための学力を保障します。すべての教科科目において、自ら課題を発見し、正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を育成します。また、一人一台端末の効果的な活用や本質に触れる主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努め、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力の伸長を図ります。相互授業参観や研究授業の実施、各種研究会への参加など、研修・研究に積極的に取り組み、教職員の授業力の向上を目指します。
- ② **個性が輝く学校**…学習指導と進路指導の連携が取れ、3 年間を見通した指導体制のもと、生徒に高い志を持たせ、一人一人の進路実現を図ります。その際低学年からのキャリア教育や探究活動を充実させ、学ぶ意欲や進路意識の高揚を図ります。「文武両道」「自主自律」の精神のもと、学習活動や部活動、学校行事、生徒会活動の充実を図り、レジリエンスの涵養と豊かな人間性・社会性・主体性を育みます。
- ③ **地域から信頼される学校**…学校公開やホームページ等を通じて本校の教育活動を積極的に情報発信し、「保護者や地域から信頼される学校づくり」、「開かれた学校づくり」を推進します。地域でのボランティア活動を推進するとともに、異校種間の連携を密にし、南加賀地区の基幹校としての自覚ある学校運営に努めます。

3 学校生活

○ 教科や授業

- ① 1 日 7 時間(金曜日のみ 6 時間)、週 34 時間の充実した授業内容。45 分授業と 50 分授業をうまく組み合わせ、放課後の部活動の時間もしっかり確保しています。
- ② 習熟度別授業、少人数授業を国語・英語・数学・理科で実施。一人一人の能力を最大限に引き出します。

③ 文部科学省指定「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」

本校は平成 18 年度より文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受け、今年で 21 年目となり、今年度より、SSH 先導的改革型Ⅰ期に指定されています。

SSH 校として、「自ら課題を発見し、正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」を目指しています。理数科目を中心に、実験・観察・データ分析を重視した課題研究や探究的な学習活動に取り組み、科学的に考察する力や論理的に表現する力を高めます。自分の興味・関心を深めながら、大学やその先の学びにつながる本格的な探究に挑戦したい高校生にとって、充実した学習環境が整っています。

「理数探究基礎」（普通科 1 年）「課題探究Ⅰ」（理数科 1 年）では探究スキルの基礎を学び、「課題探究」（普通科 2 年）「課題探究Ⅱ」（理数科 2 年）では課題探究に取り組みます。「科学探究（普通科 3 年）」「課題探究Ⅲ」（理数科 3 年）では領域融合型の学習を行ったのち、進路に応じた課題研究に取り組みます。また、理数科では「関東サイエンスツアー」（6 月）で東京大学や東京科学大学などの研究室を訪問し最先端の研究に触れ、「野外実習」（7 月）ではウニの人工授精や地質調査を行うなどのフィールドワークに取り組むことで観察力を養います。さらに、「韓国科学交流」（2 年）では、韓国の高校生との共同研究のために、7 月に韓国大田科学高校の生徒が来県します。そして、12 月には本校生徒が訪韓し、課題研究発表会に参加します。これらの活動や課題発見型授業や科目・領域融合型授業など特色のある授業を通して科学的探究力を伸長することにより、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を目指します。

④ 石川県教育委員会指定「いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）」

「人文科学課題研究Ⅰ・Ⅱ」「関東ヒューマンセミナー」「海外交流研修」などを通して、思考力や探究力、コミュニケーション能力、豊かな人間性と社会性を養うことによって、国際社会や地域社会で活躍するリーダーの育成を目指します。

○ 学校行事

100 年以上の歴史をもつ伝統ある校内レガッタ（7 月）、青春を謳歌する創立記念祭（オープニングステージ・文化祭・体育祭）、文化部発表会（3 月）、クラス対抗球技大会（3 月）など、様々な行事を生徒たちが主体となって企画・運営しています。



体育祭

○ 部活動

運動部 20、文化部 15 の部・同好会があり、どの部・同好会も活発に活動しています。部活動への加入率は 90% 近く。令和 7 年度は、北信越総体・総文に 8 の部活動、全国総体・総文にボート・かるた・吟詠剣詩舞が出場しています。また、選抜大会にはカヌー・少林寺拳法が出場しています。

その他では、野球部は過去に 2 度甲子園に出場し、吹奏楽部は石川県吹奏楽コンクールや北陸吹奏楽コンクールにおいて、数々の賞を受賞しているなど、各種大会で顕著な成績を収めています。



総体・総文壮行式

4 進路状況

本校では一人一人を大切に、きめ細やかな進路指導を行っています。今春の大学現役合格者のべ人数は、国公立大学 206 名、私立大学 520 名でした。難関国立 10 大学と国公立大学医学部の現役合格者数の合計は 51 名でした。

5 在校生からのメッセージ

小松高校は、「文武両道」「自主自律」を掲げる伝統校です。整えられた学習環境に加え、多種多様な部活動、レガッタ大会、記念祭などの唯一無二の行事があります。勉強のイメージが強い方も多いと思いますが、探究活動を始めとして、充実した濃い高校生活を送ることができるでしょう。あなたも松高生の一員になりませんか？

（令和 8 年度 前期生徒会会長 板東 功真）